

八尾市支部 支援部会

春のつどい

5月22日 八尾市立南木の本防災体育館にて(南ブロック)

この『春のつどい』は、昭和56年の国際障害者年を記念して始まり、子どもたちの健やかな成長を願う各種団体の協力を得て、今年で39回目を迎えました。『春のつどい』は14年前よりブロックごとに開催することとなり、地域の方々や子どもたちとの交流をより深め、中学校区の子どものつながりを密にしていく目的で行われています。

『春のつどい』では、八尾市立小・中学校の支援学級に在籍する子どもたちが参加し、互いに交流し合い楽しい一日を過ごします。今回も、成長し続ける一人ひとりにとってお互い生き生きとした姿に触れ合い、共に楽しい思い出をつくることができました。多くのボランティアの方々の支えや関係諸機関のご協力をいただき、今年も大成功に終わりました。



<児童の感想より>

- ・わたしはバスで春のつどいに行きました。おはじきおとしたのしかった。ペットボトルたおしはくやし
かったです。ペットボトルをたおすのがむずかしかったです。ドリブルドリブルでいっぱいつけてうれ
しかったです。
- ・きのう、みなみ木のもとぼうさいたいいくかんでは春のつどいがありました。ぼくがたのしかったのは、
わなげです。わなげで、2かいはいりました。とてもおもしろかったです。おべんとうをみんなでたべ
ました。ハンバーグがはいついて、とてもうれしかったです。